

授 業 目 名	運動性構音障害学概論Ⅱ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	岡田 健太郎	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 構音障害に関わる発声発語器官の解剖やそれにかかわる脳神経の働きを知る。 構音障害の種類やそれにかかわる脳神経部位、病名を知る。</p> <p>〔学習目標〕 発声発語器官の部位・機能を知る。 構音障害の種類と関連する神経、病名を知る。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	前期の復習		
第 2 回	中枢神経系		
第 3 回	運動系		
第 4 回	評価について		
第 5 回	標準ディサースリア検査		
第 6 回	標準失語症検査 補助検査		
第 7 回	発声発語器官の検査		
第 8 回	音声学的検査		
第 9 回	呼吸機能の評価		
第 10 回	発声機能の評価		
第 11 回	口腔機能の評価		
第 12 回	鼻咽腔機能の評価		
第 13 回	発話速度の評価		
第 14 回	プロソディーの評価		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	定期テストで評価します。（100%）		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 ディサースリアの基礎と臨床 第1巻、第2巻		
	〔参考図書〕 言語聴覚士のための運動障害性構音障害 医歯薬出版		
履 修 上 の 留 意 点	小テストを定期的実施します。		
メ ッ セ ー ジ	2年間にわたり習得する科目です。1年生前期の内容が基礎となります。前期の内容が不安な学生はしっかり復習してから臨んでください。		